



はじめに

日本では、少子高齢化による人口減少に伴い国内市場が縮小しています。そのため、人口増加や経済発展が著しい東南アジアの消費市場に、大きなビジネスチャンスが期待されています。

特に安全で栄養バランスに優れ美味しく、見た目も美しい日本食の人気の高まっています。

また、「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録され、食材として日本の農林水産物および加工食品の輸出拡大が期待できます。

輸出の拡大によって、以下のようなメリットが考えられます。

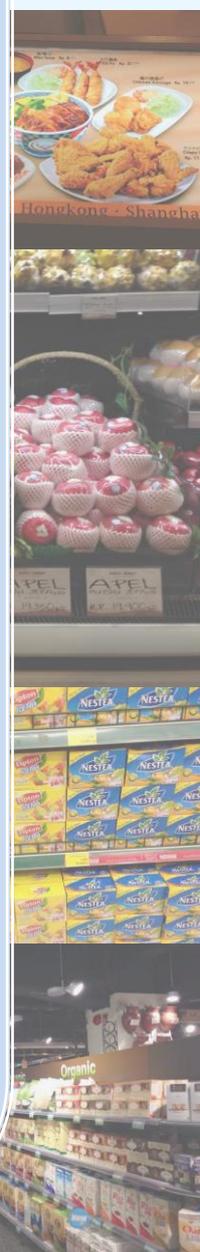
1. 海外との長期にわたる販売契約により、経営の安定化が図れます。
2. 新たな販路開拓によって、国内での生産方法の改善や販売意欲の向上につながります。
3. 海外での知名度が上がることにより、国内でのブランド価値が上がります。
4. 地域経済の活性化に貢献します

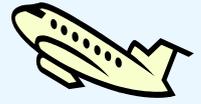
一方で、海外で新たな販路開拓を拡大する方法は、国や地域、その商品によっても大きく異なります。現地の調査を十分行い、試行錯誤しながら長期的な視点を持って取り組むことが必要です。

本書は、経済成長の著しいアセアン諸国、特に新たな販路の開拓が見込まれるタイ、マレーシア、インドネシア、ベトナムに向けて、県産農林水産物やその加工食品等の輸出に取り組もうとする生産者や加工食品事業者が手引き書として活用できるように作成しました。

内容については、一般的な例として、できるだけわかりやすく留意点や手法を説明したものであるため、詳細については、23ページに掲載した「詳細情報問い合わせ先」に確認してください。

2014年3月





目次

1. 輸出を始めるにあたり	①輸出とは？	1
	②輸出取引のかたち	2
	③輸出の流れが実現するまで	3
	④輸出書類	5
	⑤輸出検疫	6
2. 現地輸入について	①現地輸入通関の流れ	7
	②輸入許可証明書	8
	③関税	9
3. 現地までにかかる費用例		10
4. ASEAN（東南アジア諸国連合）について		11
5. タイ事情		13
6. マレーシア事情		15
7. インドネシア事情		17
8. ベトナム事情		19
9. ハラル制度について		21
10. 国別の検疫・規制（まとめ）		22
11. 詳細情報問い合わせ先		23

